

南魚沼市

名称	なえばカフェ		
実施主体	特別養護老人ホーム こころの杜		
運営主体(実施主体と異なる場合のみ記入)			
カフェの目的	施設入居者と地域住民の交流、本人と家族の語らいの場		
人員体制	施設職員3名程度		
開催場所	特別養護老人ホーム こころの杜 地域交流スペース		
開催頻度	月1回	開始年月	平成27年6月
1回あたりの参加者数	(開催時は)15人程度	参加費	100円
実施内容	地域住民と施設利用者の交流、軽体操、運動、歌、住職講話、貼り絵、施設見学、介護相談		

名称	いっぷくしよ亭		
実施主体	住民主体		
運営主体(実施主体と異なる場合のみ記入)			
カフェの目的	本人と家族の語らいの場、地域住民の方々が自由に入出入りする交流の場、気分転換、介護サービスの知識や情報交換できる場、地域全体で認知症の方々への理解と協力ができる場所の提供		
人員体制	主催者1名。協力者2名あり。		
開催場所	塩沢公民館		
開催頻度	月1回	開始年月	令和6年6月
1回あたりの参加者数	3~5人	参加費	無料
実施内容	お茶を飲みながら交流、手工芸、介護相談		

名称	びしゃもん茶房もえぎ		
実施主体	医療法人社団 萌気会		
運営主体(実施主体と異なる場合のみ記入)			
カフェの目的	本人と家族の語らいの場、地域住民の方々が自由に入出入りする交流の場、気分転換、介護サービスの知識や情報交換できる場、地域全体で認知症の方々への理解と協力ができる場所の提供		
人員体制	職員5名、ボランティア1~2名 開催時職員2名、ボランティア1~2名		
開催場所	ほっと館(旧萌気園浦佐診療所)		
開催頻度	月1回	開始年月	平成27年9月
1回あたりの参加者数	15人	参加費	100円
実施内容	お茶を飲みながら歓談。手作りお菓子の提供、時々法人医師より講話がある。		

新潟県令和7年度「地域支援事業の取組状況調査」(R7年5月実施)  
【調査票4】認知症総合支援事業等

名 称	八色園カフェ「いっぷく」		
実施主体	特別養護老人ホーム八色園		
運営主体(実施主体と異なる場合のみ記入)			
カフェの目的	地域住民、施設入居者の語らいの場、交流の場。認知症について学んだり、介護相談の場の提供		
人員体制	ボランティア4～5名、主催者5～7名		
開催場所	特別養護老人ホーム 八色園 地域交流スペース		
開催頻度	月1回	開始年月	平29年5月
1回あたりの参加者数	(開催時は)25～30人	参加費	100円
実施内容	音楽と歓談、毎月テーマを決めた講話、オカリナ演奏、体操、および介護相談		

名 称	ふれ愛喫茶		
実施主体	医療法人越南会		
運営主体(実施主体と異なる場合のみ記入)			
カフェの目的	施設利用者(入所、通所、グループホーム、小規模多機能)同士の交流の場、地域住民や家族との交流、地域住民の介護相談や施設見学		
人員体制	施設職員7～8名、ボランティア4人		
開催場所	介護老人保健施設越南苑 1階多目的スペース		
開催頻度	月1回	開始年月	平成28年5月
1回あたりの参加者数	50～70人	参加費	無料
実施内容	交流の場(利用者同士、家族、地域住民)、ボランティア・職員による楽しみ(ピアノ演奏やコーラス)の提供、介護相談		

名 称	オレンジカフェ e café		
実施主体	ゆきぐに大和診療所 認知症疾患医療センター		
運営主体(実施主体と異なる場合のみ記入)			
カフェの目的	気分転換、勉強、相談などができる気軽な場		
人員体制	医師2名、看護師1名、保健師1名、公認心理士1名、ボランティア2名(随時)		
開催場所	ゆきぐに大和診療所 玄関脇ホール		
開催頻度	偶数月1回	開始年月	平成30年6月
1回あたりの参加者数	5～6人	参加費	年会費500円、1回のみ100円
実施内容	ミニ講話、茶話会		

新潟県令和7年度「地域支援事業の取組状況調査」(R7年5月実施)  
 【調査票4】認知症総合支援事業等

名 称	「ほっか」オレンジカフェ		
実施主体	住民主体		
運営主体(実施主体と異なる場合のみ記入)			
カフェの目的	本人と家族の語らいの場、地域住民の方々が自由に入出入りする交流の場、気分転換、介護サービスの知識や情報交換できる場、地域全体で認知症の方々への理解と協力ができる場所の提供		
人員体制	主催者3名		
開催場所	JAみなみ魚沼東支店跡地		
開催頻度	月1回	開始年月	令和6年9月
1回あたりの参加者数	10～25人	参加費	無料
実施内容	ミニ講話、茶話会、軽体操など		